

平成 27 年 6 月 2 日

鹿児島大学病院 消化器外科 で

全身麻酔下による食道がんの手術を受けた患者さんへ

( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院口腔保健科では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 食道がん術後肺炎予防に対する周術期口腔機能管理の有効性に関する多施設共同後ろ向き研究

【研究機関】 鹿児島大学病院 発達系歯科センター 口腔保健科

【研究責任者】 <sup>そうとめ</sup>五月女 さき子（口腔保健科・助教）

【研究の目的】

鹿児島大学病院口腔保健科では、食道がんの手術を受ける入院中の患者さんを対象に、口腔機能管理を行っています。食道がん手術は、手術後に嚥下機能障害を生じやすく、術後肺炎の発症頻度が 20～30%と高いことが知られています。術後肺炎の主な原因に、病原性微生物を含んだ口腔咽頭貯留の誤嚥があげられています。そこで、周術期口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎の発症を抑制できるかどうかについて検証することを目的としています。

## 【研究の方法】

食道がんの手術を受けられた患者さん（内視鏡による切除は除く）の診療録（カルテ）から調査します。口腔機能管理を実施した群と実施しなかった群について、口腔管理の有無と術後肺炎との関連性について、解析します。診療録からデータを集積して匿名化した情報を長崎大学に送付します。

### ●対象となる患者さん

平24年4月1日から平成27年3月31日までに、鹿児島大学病院消化器外科で全身麻酔下による食道がんの手術を受けられた患者さん120名

### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、腫瘍の部位、進展度、貧血、術前の血清アルブミン値、術前のクレアチニン値、喫煙歴、呼吸機能、合併症、手術療法、手術時間、出血量、術後挿管の有無、歯科介入の有無、術後肺炎発症の有無

## 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

## 【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究のデータ解析は、鹿児島大学予防歯科学の研究費で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 発達系歯科センター 口腔保健科

助教 五月女 さき子

電話 099-275-6650      FAX 099-275-6650